

予算に組み込まれた公明党の主な実績♪

- ◆子ども医療費の無償枠を18歳までに拡大
- ◆带状疱疹ワクチン接種費用の助成（50歳以上）
- ◆がん患者の支援としてウィッグや胸部補整具の購入費用の助成（上限1万円、各1回）
- ◆AYA世代末期がん患者に対する在宅サービス利用料及び福祉容疑購入費用の助成（上限あり）
- ◆小・中学校等体育館にエアコン整備
- ◆小・中学校トイレ改修事業
- ◆通学路における街頭防犯カメラ増設
- ◆子どもの居場所作りになる地区センターの設置
- ◆キヨスク端末を地区センターに配備
- ◆ゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組み
- ◆谷原地区に雨水貯留施設の設置
- ◆道路施設維持管理事業として路面下空洞調査

公明党では無料の法律相談を行っております
お申し込み、その他、ご相談・ご要望は

くりばら

まで

電話は 090-3476-6526



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



くりばら通信



党員、支持者の皆さまには、常日頃より公明党へのご理解とご支援を頂き、誠にありがとうございます。

3月定例議会が閉会しました。今議会では、子ども医療費の助成対象年齢拡大、带状疱疹ワクチン接種費用助成、がん患者支援、AYA世代の末期がん患者支援、小・中学校体育館に空調設備の整備事業など公明党市議団としての主張が数多く組み込まれた予算案が可決されました。

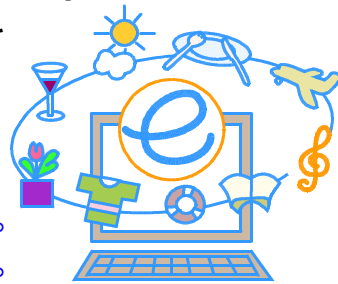
今後とも市民目線での市政運営となるように市議団団結して取り組んで参ります。ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和6年3月度定例議会：一般質問・代表質問より

1 行政のDX化について

行政のDX化に関連して①コンビニ交付手数料10円事業の延長について②キャッシュレス決済について③スマートバス停について④メタバスの導入について⑤高齢者支援について市の考えをお伺いしました。

答弁：地区センターにキiosk端末を設置することのでその動向を注視します。来庁せずに手続きの出来る窓口の実現。デジタルサイネージ機能能を併せ持つスマートバス停やメタバスについて先行事例を注視します。高齢者支援も充実させます



2 ボーイスカウト支援について

青少年育成の観点から、特に若いときの訓練が大人になって活かせる点、特に災害時にいち早く現場での被災者救援に動けるようになることなどから、市として何か側面支援が図れないものか、市の考えを伺いました。

答弁：今後、活動の実態の周知、事業についてホームページなどで紹介、体験できる場の提供など財政的にも相談体制の強化など団体の求めに応じた体制を検討します



3 コドマモの導入について

コロナ禍にあってGIGAスクール構想が加速度をあげ児童生徒一人一台のタブレットを手にしたことからSNSなどでの性的な自撮り画像が想定外に流出する事件が多発するようになり、愛知県警は民間と連携し、流出を未然に防ぐアプリ「コドマモ」を開発しました。春日部市としても導入すべきでは、と訴えました。

答弁：先進事例を参考に検討します。



SNSトラブルに注意

代表質問

令和6年度における市長の施政方針には数多くの公明党市議団の要望が組み込まれていることを評価します。その中でも、令和6年度において特に力を入れる事業は何か、お伺いしました。

答弁：子育て・教育分野で通院助成対象拡大する「こもど医療費支給事業」、福祉・保険・医療分野で新たに带状疱疹ワクチン接種費用を助成する「予防接種委託事業」、市民参加・文化・スポーツ分野として公民館に地区センター機能を備える「地区センター運営事業」などです。